

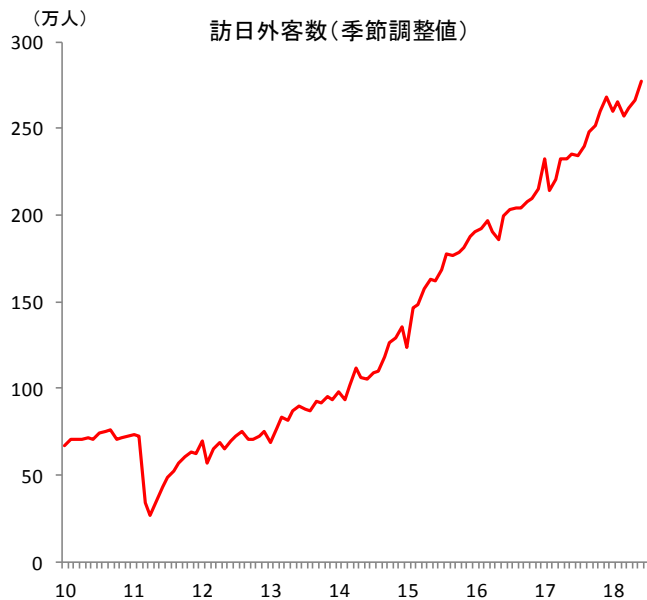
Economic Indicators

定例経済指標レポート

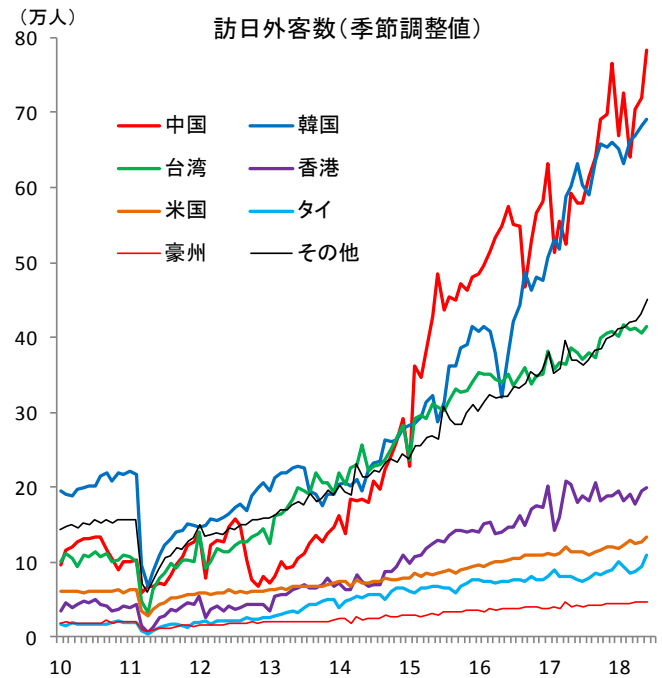
指標名: 訪日外客数(2018年6月)
～6月の訪日外客数は大幅に増加～

発表日: 2018年7月18日(水)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL: 03-5221-4528



(出所) 日本政府観光局「訪日外客数」
(注) 季節調整は第一生命経済研究所



(出所) 日本政府観光局「訪日外客数」
(注) 季節調整は第一生命経済研究所

○6月の訪日外客数は大幅に増加

日本政府観光局(JNTO)から発表された6月の訪日外客数は270万5千人、前年比+15.3%となった。6月としては過去最高である。JNTOは、「航空路線の新規就航や増便、チャーター便の就航による航空座席供給量の増加に加え、継続的に展開している訪日旅行プロモーションの効果も相まって、訪日外客数全体としては堅調に推移した」としている。

また、季節調整値(筆者試算)でみると、6月は前月比+4.3%と高い伸びとなっている(増加は3ヶ月連続)。国別では、最大のシェアを占める中国からの訪日客数が前月比+8.8%と大きく伸びた。6月は大阪府北部地震の影響で下振れの可能性があるかとみていたが、予想に反して上振れという結果になっている。為替レートが再び円安気味に推移していることが影響したことに加え、去年は5月だった端午節休暇が今年は6月だったことも押し上げに寄与しているものと思われる。なお、四半期でみても、4-6月期は前期比+2.9%と増加した。1-3月期には前期比+0.4%と足踏み感が出ていたが、足元では持ち直す形になっている。先行きについても、アジア諸国の所得拡大に伴う観光需要増や、我が国のインバウンド需要取り込みに向けた対応等を背景として訪日外客数はこの先も増加を続けて行く可能性が高いだろう。

○2020年の4000万人も視野に

これで上半期(1～6月)累計では1589万9千人となり、昨年同時期を15.6%上回った。これを単純に2倍しても3180万人となり、2018年(暦年)の訪日外客数が年間3000万人を突破するのは固いところだ。

（2017 年：2869 万人）。下期も訪日客の増加傾向が続く可能性が高いことを踏まえれば、年間 3300 万人程度は十分射程内だろう。アベノミクス開始初期の 2013 年が 1036 万人だったため、わずか 5 年で訪日外客数は 3 倍以上に増えたことになる。また、政府は 2020 年に 4000 万人という目標を掲げている。ハードルは高いものの、2020 年にはオリンピックが開催されることを踏まえると、達成の可能性もあるとみている。